

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	たまりばホワイト		
○保護者評価実施期間	2025年12月3日 ～ 2025年12月18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	22
○従業員評価実施期間	2025年 12月8日 ～ 2025年12月12日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を重視し、職員間で情報共有を行いながら継続した支援ができています。	日々の支援内容や児童の様子について職員間で振り返りを行い	外部研修や内部研修への参加を通じて、職員の専門性向上を図っていく。
2	職員と児童の距離が近く、安心して過ごせる環境づくりができています。	児童が成功体験を積めるよう、小さな達成感を大切にした声かけ	発達の段階を捉え活動などにねらいを定めて、児童一人ひとりに合った支援をさらに深めていく。
3	学校・家庭との連携を大切にし、送迎時や連絡帳等を通じて日々の様子を丁寧に共有している。	生活動作や集団活動の中で、社会性やコミュニケーション力が育つよう意識した支援を行っている。	保護者との面談や情報共有の機会を増やし、家庭と連携した支援体制を強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の経験年数や専門性に差があり、支援方法にばらつきが生じることがある。	人員配置や業務量の関係で、支援内容の検討や職員間の共有に十分な時間を割くことが難しい状況がある。	定期的なミーティングやケース検討の時間を確保し、支援の統一と質の向上を図る。
2	日々の業務に追われ、十分な振り返りや検討の時間が確保しづらいことがある。	経験の浅い職員が多いことにより、支援スキルの習得に時間を要している。	OJTや研修を通じて、職員一人ひとりのスキルアップを進めていく。
3			業務の効率化を図り、支援の振り返りや記録に十分な時間を確保できる体制づくりを行う。